

ピリミジフェン水和剤 マイトクリーン	取扱メーカー： 三井アグロ 原体メーカー： 三井アグロ
成分： ピリミジフェン…………… 4.0%	性状： 淡褐色水和性粘稠懸濁液体 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

- ハダニ類に接触的に作用するとともに、経口的にも作用する。
- ハダニ類の成虫、若虫、幼虫、卵いずれのステージに対しても高い殺ダニ、殺卵活性を示す。
- ハダニ類への効果は、温度の影響をほとんど受けない。
- コナガに殺卵活性を示し、既存剤に対する抵抗性が問題になっている地域でも効果は安定している。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布する。
- 連続散布は、ハダニ類の本剤に対する抵抗性を増加させる恐れがあるので、できるだけ年1回の散布とし、他の殺ダニ剤との輪番で使用する。
- 薬剤抵抗性のハダニ類に効果が劣る場合があるので注意する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- 長期間貯蔵しておくとき分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態にもどしてから所定量を取り出す。なお、希釈する場合は、所定量の水に加えてから十分攪拌する。
- ハウス栽培のみかんには使用しない。

- 高冷地夏穫りキャベツは品種により葉にアントシアンを強く生じるおそれがあるので、結球後は使用しない。
- 夏期高温時は日中をさけ。朝夕の涼しい時に散布する。

【安全対策上の注意】……………

- 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 魚類に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合は注意を参照。
- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。



【適用と使用方法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及びピリミジフェン を含む農薬の総使用回数	使用 方法
かんきつ	ハダニ類 ミカンサビダニ	2000 ～ 3000 倍	200 ～ 700 ℓ	14 日前まで	1 回	散布
	ミカンキジラミ チャノホコリダニ	2000 倍				
りんご	ハダニ類	1000 ～ 2000 倍		21 日前まで		
なし		1500 ～ 2000 倍		14 日前まで		
もも		2000 倍			2 回以内	
いちご			前日まで	1 回		
キャベツ	コナガ	1000 倍	100 ～ 300 ℓ	7 日前まで	4 回以内	
はくさい					2 回以内	
茶	カンザワハダニ チャノホソガ サビダニ類 チャノホコリダニ	2000 倍	200 ～ 400 ℓ	摘採 14 日前まで	1 回	
げきつ	ミカンキジラミ		100 ～ 300 ℓ	発生初期		